

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-11-01
事務事業名	国道等整備促進事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	平成8年度～	担当課(室)	都市整備課
大項目	基本目標 安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名	管理係長 岸本豊弘
中項目	基本施策 生活しやすいまちづくり	電話	64-1833
小項目	施策 道路		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	国土交通省、岡山県、地域住民
目的(何のために)	国道等を整備することにより、地域の活性化を図ることを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	整備促進期成会をおき、各市町の地域間の情報交換及び交流を図りながら相互協力のもと国へ道路整備の促進要望をしていく。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国道等を整備により、地域の安全、活性化を図りたい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	国道2号整備促進要望	件数	5	5	5
	国道2号整備促進要望先	件数	60	60	60
	直接事業費	千円	536	386	362
	人件費		2,860	3,174	1,358
	事業費計		3,396	3,560	1,720
	国県支出金				
	受益者負担				
	市一般財源	千円	3,396	3,560	1,720
	必要人員	人	0.30	0.33	0.15
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	人	5	5	5
	対前年比	%	—	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	単位当たりコスト	円	400,000	400,000	400,000
結果指標②	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	人	—	—	—
	対前年比	%	—	—	—
	活動コスト	円	—	—	—
	単位当たりコスト	円	—	—	—

事業の成果			
成果指標名	要望箇所の実施件数	式又は説明	要望実施箇所数/要望箇所数
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	100		100 100
対前年比	—		100% 100%
到達目標値	100	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> C
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	地域住民が安全・安心して快適な生活が送れるよう道路整備を推進するため国をはじめ関係機関へ要望していく。
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> C
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	整備の早期実現を図るために、関係市町村と連携を図りながら効率よく推進していく。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	早期整備の実現に向け粘り強く要望していく。

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	引続き要望を続けていく。
目標値	結果指標量① 5	結果指標量② 100

総合評価	評価区分<A~E> C	
早急な高架の期待はできないが、整備実現に向け努力していく。		

平成21年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成20年度で廃止・完了
--------------	--	---	--------------

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	要望箇所の選定	要望時	要望箇所の実現